

効率的な騒音対策に！

音響管計測による 吸音・遮音特性評価

基礎からの音響管計測

家電や産業機械をはじめ様々な機器に対して、音・振動に対する要求が従来に増して高まっています。不要な振動は、機器の故障を引き起こすだけでなく、不快な音として空気中に放射されます。放射された音を減少させたい場合、吸音材料の使用が有効であることが多く、音のエネルギーを吸収することにより、反射音を少なくすることができます。

本講座では、音の基礎や音響管計測について解説した後、グラスウールを用いて、音響管計測を行います。測定するパラメータは垂直入射吸音率、特性インピーダンス、伝搬定数、透過損失です。また、測定した結果を用いて、逆推定によって音響パラメータを求め、音響材料の特性を予測する方法も学んでいただきます。

日時

令和8年 2月3日(火)
10:00～16:00

開催会場

KISTEC 海老名本部

形式

対面実施

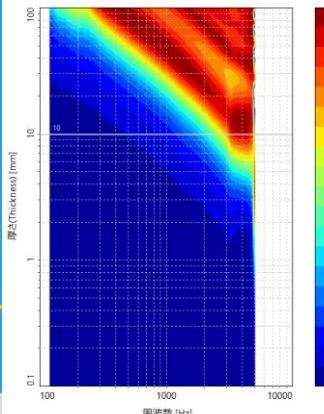
定員

2名

費用

20,000円(税込)

詳細・申込はHPをご覧ください


<https://www.kistec.jp/learn/soundabsorption/>


こんな方におすすめ

- ・音響材料を用いた機器の低騒音化をお考えの方
- ・音響材料の開発、改良を行っている方
- ・音響材料の特性予測を行いたい方

カリキュラム

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 10:00～10:30 | 音の基礎 |
| 10:30～11:30 | 音響管計測手法について |
| 11:30～12:00 | 試料の作成 |
| 13:10～14:10 | 吸音率、特性インピーダンス、伝搬定数の測定 |
| 14:10～15:10 | パラメータの逆推定及び吸音特性の数値シミュレーション |
| 15:10～16:00 | 透過損失の測定 |